家で使う

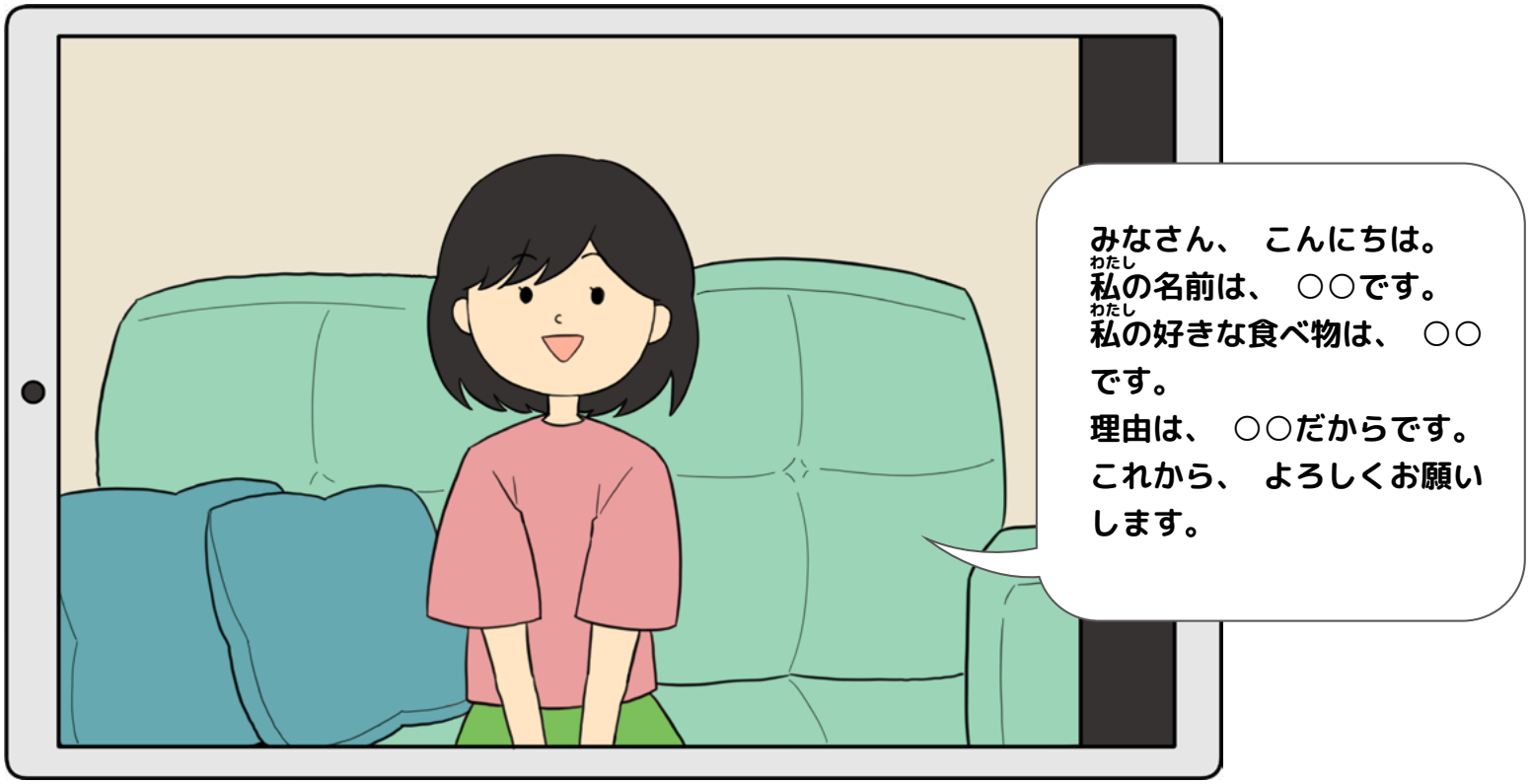
端末は、学校だけでなく、家に持ち帰って使うこともできます。
家で宿題をしたり、友だちと一緒に課題の続きをしたりと、家で端末を使うことで、様々な学習を行うことができます。
ここでは、端末を家で使うときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

最初にチェックしてみよう

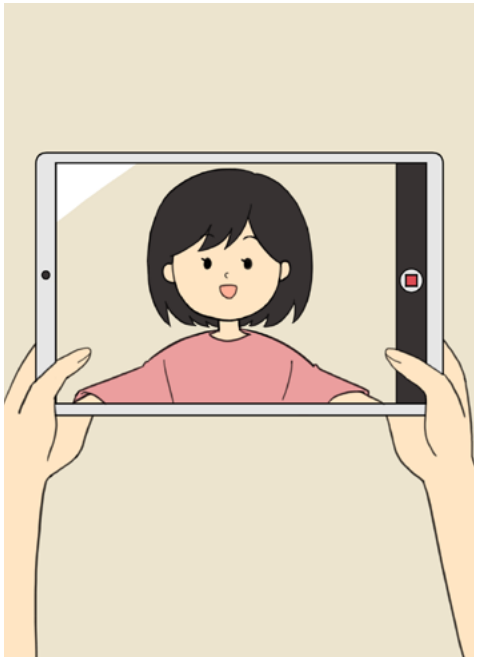
- □ 私は、練習のための動画を上手に撮ることができると思う
- □ 私は、自分の行動をプログラミングで表すことができると思う
- □ 私は、「学習の目的」かどうかを判断して使うことができると思う
- □ 私は、ゲームやSNS以外にも新しくチャレンジしたいことを考えたことがある
- □ 私は、「家庭のルール」を守って使うことができると思う
- □ 私は、ゲームをやめたり、勉強をはじめたりする方法について考えたことがある

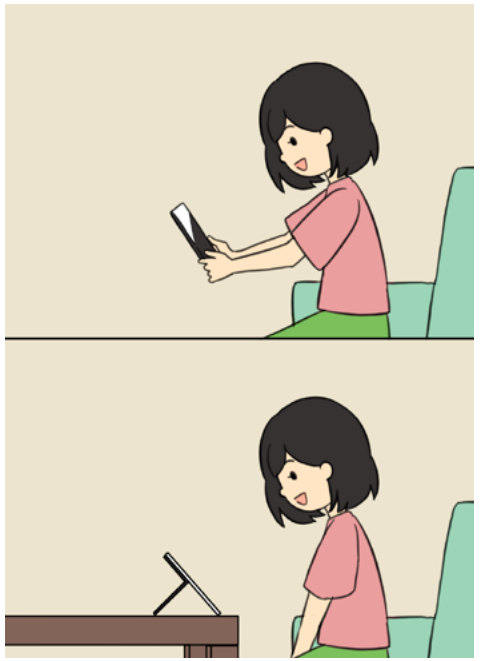
上手な練習の仕方を学ぼう

クラスで、自己紹介（好きな食べ物とその理由）をする必要があるので、家庭で、自己紹介の練習を一人ですることにしました。
カメラを使って、自分の自己紹介を動画にとって、見かえしてみましょう。
どのように撮ると、効果的でしょうか。



解説へ





スキルのポイント

カメラで自分の様子を撮り、ふりかえると様々なことに気づくことができます。しかし、きちんと撮影しないと、ふりかえったときに違う印象を受けてしまいます。

まずは構図です。**自己紹介の場合は、顔だけでなく、手も映るような構図で撮るとよいでしょう。**

次に明るさです。暗い場所で撮ると、それだけで見た時の印象が変わってきます。**できるだけ明るい照明の近くで撮るとよいでしょう。**

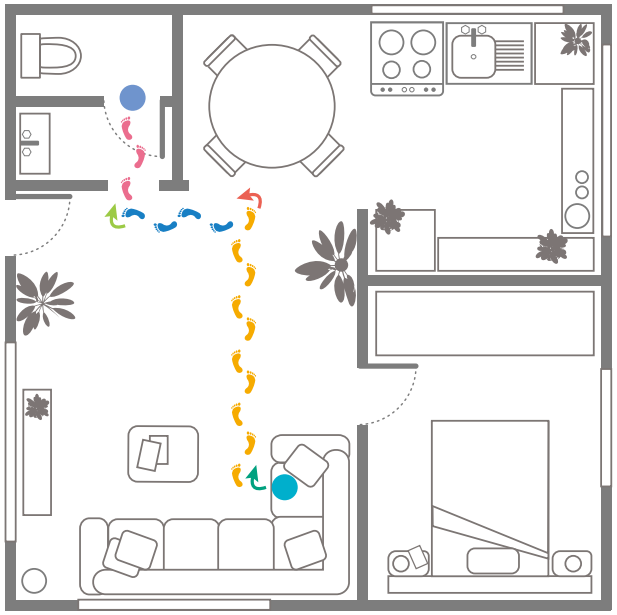
最後に固定です。カメラを手に持ったまま撮影してしまうと、ブレてしまうので、**固定して撮影するようにしましょう。**

自分の行動をプログラミングしてみよう

家の中の行動を細かく分解して、書き出してみよう。
その行動を家族にやってもらったら、うまくできるでしょうか？

タイトル

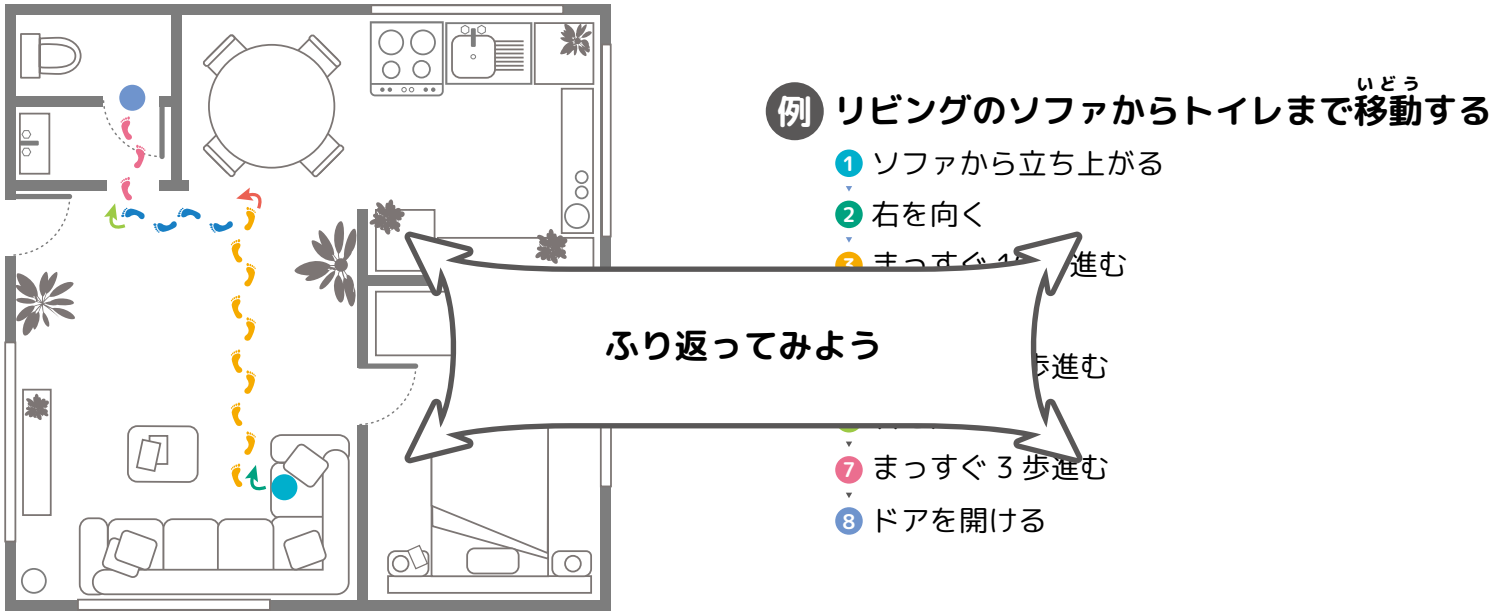
1 ▼
2 ▼
3 ▼
4 ▼
5 ▼
6 ▼
7 ▼
8



例 リビングのソファからトイレまで移動する

1 ソファから立ち上がる
2 右を向く
3 まっすぐ 10 歩進む
4 左を向く
5 まっすぐ 4 歩進む
6 右を向く
7 まっすぐ 3 歩進む
8 ドアを開ける

解説へ



スキルのポイント

家族にやってもらう場合には、「少し前」「もうちょっと右」などの声かけは禁止です。

「少し前」と言いたければ、それを 「1 歩前」などと書いておかなければなりません。まずは自分で何度も試してみましょう。

また、自分が試したり、家族にやってもらう場合には、安全に気をつけて行いましょう。

「学習の目的」と言えるのかな

次の家庭での端末の利用は、「学習の目的」と言えるのでしょうか。
「学習の目的と言える」と「学習の目的とは言えない」にわけてみましょう。

1 クラブ活動の練習のために、端末でバドミントンの動画を見た

2 勉強するときに、端末で音楽をきいた

3 国語の勉強のために端末で小説を読んだ

4 友だちと仲良くなるために、端末で友だちが好きなお笑いの動画を見た

A 学習の目的と言える	B 学習の目的とは言えない

解説へ

スキルのポイント

端末を家庭に持ち帰ると、自分で「どこまで利用するか」を決めることになります。

すべてのケースを挙げて、「ここまでが学習の範囲です」と決めることはできません。**自分で、「どこまでが学習の範囲かな」と考え、学習の目的で端末を使うようにしましょう。**

例えば、「もし学校の授業や休み時間だったら、そのことは許されるのかな？」と考えてみると、「学習の目的」の線引きが考えやすくなります。

新しくチャレンジしたいことは？

ゲームやSNSで遊ぶことも楽しいですが、その他にも新しくチャレンジしたいことを考えてみましょう。

1
体を動かす
サッカー、野球、バレー…

2
自然
こん虫採集、キャンプ…

3
見学
博物館、美術館…

4
料理
新しい料理、おかし作り…

5
育てる
花、動物、野菜…

6
考える
パズル、将棋…

7
つくる
手芸、プラモデル…

8
のんびり
読書、おふろ…

9
見る
映画、ドラマ…

10
話す
新しい友達、地域の人…

11
出かける
買い物、名所…

12
食べる
新しい料理、新しいおかし…

A ひとりでやってみたい

B 友達や家族と一緒にやってみたい

解説へ

1 **体を動かす**
サッカー、野球、バレー…

2 **自然**
こん虫採集、キャンプ…

3 **見学**
博物館、美術館…

4 **料理**
新しい料理、おかし作り…

5 **育てる**
花、動物、野菜…

6 パス

友だちと比べてみよう

デル…

8 **のんびり**
読書、おふろ…

9 **見る**
映画、ドラマ…

10 **話す**
新しい友達、地域の人…

11 **出かける**
買い物、名所…

12 **食べる**
新しい料理、新しいおかし…

スキルのポイント

　みなさんは、スマホやタブレット、ゲームでどのくらいの時間あそんでいるでしょうか。

　もし、その時間を新しいことにチャレンジする時間にしてみたら、どのようなことができるでしょうか。

　自分だけでなく、友達と一緒にやってみたいこと、家族と一緒にやってみたいことも考えてみましょう。

ついついルールをやぶってしまうときは

あなたの家庭には、「宿題などのやることが終わったら、30分だけ動画を見てもよい」というルールがあります。でも、ついつい30分を超えて動画を見てしまうときがあります。
次の①～④のキーワードを使って、自分だったらどんな時に30分を超えて動画を見てしまうかを考えてみましょう。
また、A～Dのキーワードの中から、自分ができそうな工夫を１つ選んでみましょう。

1 続きが気になる

2 きりが悪い

3 夢中になってしまう

4 誰も注意してくれない

A 時計やタイマーを使う

B 自動再生をオフにする

C リビングで見るようにする

D 最初に動画の再生時間を確認する

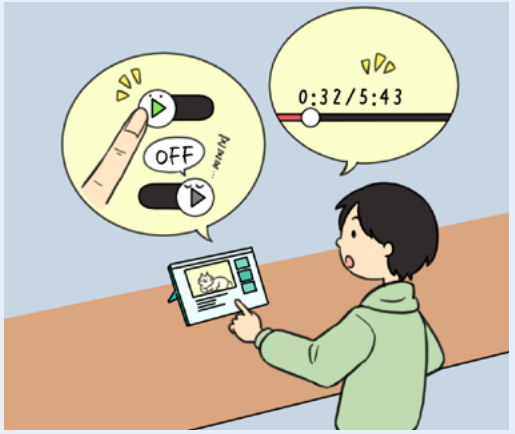
ルールを破ってしまう理由	ルールを守れるようにする工夫
例）④誰も注意してくれない	例）C. リビングで見るようにする

解説へ

解答例

ルールを破ってしまう理由	ルールを守れるようにする工夫
例）④誰も注意してくれない	例）C. リビングで見るようにする
①続きが気になる	B.自動再生をオフにする
②きりが悪い	A.時計やタイマーを使う
③夢中になってしまう	D.最初に動画の再生時間を確認する

スキルのポイント



ルールを決めても、ついついやぶってしまう時はあるかもしれません。その時は、**どんな時に自分がやぶってしまうのかを考えるとよいでしょう。**

もし、次が気になるなら、動画の「自動再生」をオフにする、集中して時間がわからないなら、時計を自分の見えるところにおいて、アラームをかけるなど、どんな時に自分がやぶってしまうのかを意識して、その対策を考えてみましょう。

はじめる・やめるスイッチを考えよう

楽しいゲームをやめたり、 勉強をはじめたりするのは、 なかなか大変(たいへん)です。
あらかじめ、ゲームをやめるためのスイッチ （きっかけ） や勉強をはじめるスイッチ （きっかけ） を考えてみましょう。

例 1 「短いもの」をはさむ	「ゲーム→勉強」ではなく、「ゲーム→音楽を 1 曲だけ聞く→勉強」のように短くできる楽しいものをはさむ
例 2 「とりあえず」から始める	とりあえずペンを持つ、とりあえず座る、とりあえず一行だけ書いてみる
ゲームをやめるためのスイッチ (きっかけ)	
勉強をはじめるスイッチ （きっかけ）	

解説へ

例1 「短いもの」をはさむ	「ゲーム→勉強」ではなく、「ゲーム→音楽を1曲だけ聞く→勉強」のように短くできる楽しいものをはさむ
例2 「とりあえず」から始める	とりあえずペンを持つ、とりあえず座る、とりあえず一行だけ書いてみる
ゲームをやめるためのスイッチ（きっかけ）	
勉強をはじめるスイッチ （きっかけ）	

友だちと比(くら)べてみよう

スキルのポイント

だれかに言われずに、自分でゲームをやめたり、勉強をはじめたりする力を「自律(じりつ)」と言います。いつまでもだれかが 「やめなさい」「やりなさい」と言ってくれるとは限(かぎ)りません。自分でやめたり、はじめたりするためには、そのためのスイッチ （きっかけ）が重要(じゅうよう)です。どんな工夫(くふう)ができるか、友達(ともだち)と共有(きょうゆう)してみましょう。

家で使う

まとめ

よき使い手になるために

「家で使う」ためには、家庭でルールを決めておくことが重要になります。端末を学習の目的として使うために、どんなルールがあればよいか、家庭で話しあってみましょう。また、ルールを決めるだけでなく、「どんな時にそのルールを破ってしまうのかな」「どんな工夫をすれば、そのルールを守れるのかな」と考えてみるとよいでしょう。

チェックしてみよう

- □ 私は、練習のための動画を上手に撮ることができる
- □ 私は、自分の行動をプログラミングで表すことができる
- □ 私は、「学習の目的」かどうかを判断して使うことができる
- □ 私は、ゲームやSNS以外にも新しくチャレンジしたいことがある
- □ 私は、「家庭のルール」を守って、工夫して使うことができる
- □ 私は、ゲームをやめたり、勉強をはじめたりするために、工夫することができる

家で使う

これからの社会では

学校で学習したことを、家庭で引き続き学習することができるのはなぜでしょうか。これまで、情報は手元の端末に保存され、処理されていましたが、インターネット上に保存し、処理することで、スマホでも家のタブレットでも、学校でも家庭でも同じデータやサービスを利用することができます。これを「クラウド」と言います。

例えば、動画共有サイトでは、家のタブレットで見た動画を、家の外でスマホを使って見ても、その動画の続きから見ることができます。これからの社会でも様々なクラウドサービスが登場し、どんな場所でも同じように学習や仕事ができるようになるでしょう。

調べてみよう　クラウドを利用したサービスやアプリには、どのようなモノがあるだろうか。

考えてみよう　クラウドを利用したサービやアプリが広がった場合、どんな問題が起きるだろうか？